

# ふゆ ほしぞら み あ 冬の星空を見上げてみよう

冬は寒いですが、他の季節よりも空気中に含まれる水蒸気が少なく、空が遠くまではっきり見えるので星空の観察には最適な季節です。寒さ対策を万全にして冬の豪華な星座をめぐるとたびたび旅に出かけてみましょう。



冬の外は寒い。防寒着とカイロを忘れずに。

## 冬に観察できる代表的な星座たち



まずは有名なオリオン座を探してみよう。明るい星によって構成されているので、都会の空でもよく見えます。オリオン座のモデルはギリシャ神話に出てくる狩人のオリオン。オリオンの隣には猟犬のおおいぬ座、こいぬ座があり、オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンの3つを結ぶと、「冬の**大三角**」の完成です。オリオン座の西側には、赤い星「アルデバラン」が特徴のおうし座。おうし座には星が集まっている**プレアデス星団**があります。

## プレアデス星団について

日本ではプレアデス星団のことを、たくさんの星が集まっている様子から、**すばる**（統べるが変化したもの）、肉眼でおおよそ6つの星が見えることから、**六連星**等と呼んでいます。“すばる”は平安時代に清少納言の書いた枕草子にも登場する他、大手車会社の社名に採用される等、日本では昔から馴染みの深い星です。



プレアデス星団 和名は すばる

©国立天文台

# ふたご座流星群を見よう

流れ星を見たことはありますか？見たことがない人は、12月の天体イベントの一つ「ふたご座流星群」がオススメです。流星群の接近時は普段よりも流れ星が多く観察できます。今年のふたご座流星群の見ごろは12月13日の夜から明け方。寒さ対策を万全にして、流れ星を探してみてください。



流れ星は肉眼でも見えます。



## 1. 流れ星（流星）が起こる仕組みとは

流れ星（流星）の正体は、直径1ミリから数センチ程度の宇宙に漂うチリの粒が、地球の大気圏に突入した際に燃え尽きる時に生じる光の現象のことです。



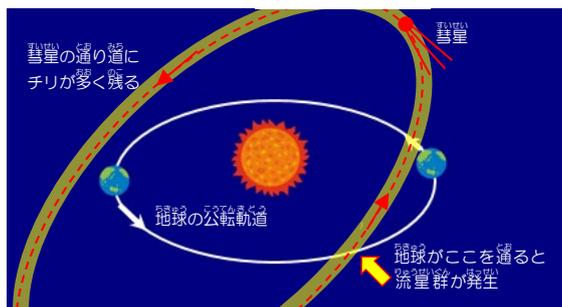
チリの粒が地球の大気圏に突入すると地球からは星が流れたように見えます。

## 2. 流星群が決まった時期にやってくるのはなぜ？

地球が太陽の周りを1年かけて回る通り道に、流れ星の元になるチリの多い所があります。これは、太陽の周りをまわる彗星が残したものです。つい先日も、紫金山・アトラス彗星が地球から観察されて、話題になりました。



©長山省吾  
紫金山・アトラス彗星



彗星は太陽の熱を受けて、チリを放出しながら太陽の周りを回っています。彗星の通り道（チリの多いところ）に地球が近づく時期が毎年同じなので、決まったタイミングで流星群が現れるということになるのです。

### アクティブ・レンジャーを出前授業に呼んでみませんか？

この記事を書いた兵庫県南部・瀬戸内海側にある神戸自然保護官事務所の中村（なかむら）です。自然の中で遊べる出前授業も行っています。

↓↓興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください↓↓

環境省 神戸自然保護官事務所 TEL:078-331-1146 FAX:078-331-1148  
竹野自然保護官事務所 TEL:0796-47-0236 FAX:0796-47-0249

